

一般質問



自由民主党清和会

前田 孝雄

議員



恵庭公園陸上グラウンドを核とした複合施設の整備について

問 ウォーキングやランニング用に2km前後の周回コース、遊歩道をウッドチップにより整備することやウォーキング、ランニング施設を公園や陸上グラウンドの外周に整備することについて所見を伺います。

答 ウッドチップによる周回コース整備は、過去に維持管理や植物への影響の懸念から撤去された経緯があり、対応が課題と考えています。自然林内園路にて、動植物の観察や写真撮影などの光景が見受けられ、接触事故なども懸念されます。周回コースの整備は可能ですが、今後の陸上グラウンドの整備に向けた議論と併せ、所管部署と情報を共有しながら、慎重に検討して参りたい。

問 公園内遊具設置に加えて、運動性の高いアスレチック用の遊具も設置するとともに、高齢者用にフレイル予防につながる運動器具を設置し、公園利用への仕掛けづくりも必要と思いますが所見を伺います。

答 公園遊具の更新は、公園施設長寿命化計画に基づき計画的に進めてお

り、恵庭公園については次期計画で検討します。アスレチック遊具や運動器具の導入は可能と考えていますが、地域からの要望や陸上グラウンド整備に向けた議論などを踏まえ検討して参りたい。



恵庭公園陸上競技場

問 全国都市緑化北海道フェアの開催により、花の拠点はなふるは花のまちえにわのシンボルとなり、次は恵庭公園に花のウエルカムゾーンを整備し、既存陸上グラウンド外周の土塁上に市民花壇を整備し、スポーツ観戦をしながら花を楽しめる憩いの場を設けてはどうか所見を伺います。

答 恵庭公園陸上グラウンドの整備は一部コースを全天候型に改修することを基本に整備方針案をまとめ、市民憩いの場については、今後調査研究して参りたい。

◆その他の質問項目

・本市のスポーツ振興の現状と今後の展望について、駒場体育館の廃止に伴う対策について



自由民主党清和会

石井 美季

議員



不登校児童生徒に関する施策について

問 市でも不登校児童生徒は増加し、適応指導教室の「学びの森」を試行的に開設していますが、成果・検証について伺います。

答 10月より試行的に開設し、当初の予定より多くの児童生徒に来ていただいております。特に、恵明中学校の生徒を中心に、大学近くの児童も来ていただいております。現在16名が登録し、日々8名程度の児童生徒で実施しており、指導員も当初の1名から増員し2名体制で指導を行うとともに、北海道文教大学の学生にボランティアで協力いただきながら、不登校児童生徒の学びをしっかりと保障していきたいと考えています。現在、来年度の本実施に向け、しっかりと検証して参ります。

問 狭隘化が進んでいる適応指導教室や校内支援センターの拡充を行っていただき、支援員の確保も急がなくてはと思います。早急に機能の拡充が必要と考えますが、ご所見を伺います。



学習風景イメージイラスト

答 不登校児童生徒の増加については極めて重要な課題と認識しており、学校長に向けて、予兆をつかむことや継続的な声掛けや関わり合いを持ち続けることなどを話し、市教委しても危機感を持つて対応しています。適応指導教室は、現在、北海道文教大学で試行的に実施し、一定の児童生徒が通所しております。本格実施となれば、大学内の設置は全国で初めての事例になり、大学の協力を得ながら、つなげて参りたい。また、支援員の確保や校内支援センターの設置などの施策も推進して参ります。

◆その他の質問項目

・市民の主権者意識の向上について、ヒューマンコミュニケーション事業について



自由民主党清和会

宮 利徳 議員



住生活基本計画の進捗状況について

問 重点施策として、住宅・土地流通化促進支援と既存民間賃貸住宅を活用した新たな公的住宅支援を掲げられていますが考え方について伺います。

答 住宅・土地流通支援では、人口増加などの大きな要因である住宅や住宅地の供給が、近年不足状態が続いており、既存空き地、空き家の流通促進を通じた安定供給を目指し、所有者への支援策の検討を進めています。

既存民間賃貸住宅を活用した新たな公的支援住宅では、従来の公的支援住宅政策を見直し、既存民間賃貸住宅の空き家を活用したセーフティネット住宅の登録推進に向け支援策の検討を進めています。これらの重点施策は住生活基本計画の見直しの中でしっかりと位置付けて参ります。

問 本市での空き家や空き地の流通における課題について伺います。

答 住生活基本計画検討懇談会において、古い住宅の解体費が高額であり、住宅売買や流通時の支障となっている

との意見があり、市としても課題と考えています。



市営住宅柏陽団地

問 市街化区域の拡大や新規住宅造成も困難な中、市街化区域内の宅地流動化や宅地供給を促進するため、住宅解体費の補助制度の導入の検討をしてみているかどうか伺います。

答 宅地供給不足の中、空き家・空き地の流通化は課題であり、所有者への流通を促す施策立案は重要と考えており、今後の施策検討の参考とさせていただきます。

◆その他の質問項目

・市営住宅の現状と今後の在り方について、生活困窮世帯に対する住宅支援について、市民プールの在り方について、ガーデンフェスタ北海道2022を活かした今後のまちづくりについて



自民党憲義会

川原光男 議員



台湾経済交流推進事業について

問 恵庭市台湾経済交流推進事業の開催に関して、本事業の考え方と事業効果について伺います。

答 華僑招聘事業については、6月24日から27日の間で開催し、華僑との商談会では、市内業者2者が複数の企業と商談中であり、今回の商談がきっかけとなり、東京で開催された「台湾フェスタ」にも本市のPRブースが出展し3日間で12万人の来場があったことから、本市を含め市内事業者のPRに一定程度の効果があつたものと考えています。

問 今回の招聘事業に関して公費負担したということですが、この公費負担が、どのように市の益に寄与するか、その妥当性について伺います。

答 商談会や業務連携を通し、市内の投資拡大が促進され、観光施設の紹介や教育旅行の誘致などによる観光消費の拡大、本市の知名度向上につながっており、妥当性があると認識しています。

問 招聘事業において、議員から負担の圧力があつたと報道されており、市民から公金を返還すべきとの疑義の声が上がっていますが考えを伺います。

答 今後、公費負担の要求については、第三者委員会でご質問があれば、事実についてお答えしたいと考えています。また、公金負担に関しては、監査が実施されると考えておりますので、その結果を受け止めて参りたいと考えています。



イメージイラスト

問 職員からアンケートを聴取し、実態把握と対応を講ずることが、ハラスメントの抑止効果となり、改めて素晴らしい恵庭をつくる気概が生まれると思いますが所見を伺います。

答 ハラスメントに対するアンケート調査については、議会や第三者委員会からの要請があれば、適切に対応して参ります。



公明党議員団

生本富士代

議員



今冬の感染防止対策の取組について

問 新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時流行に備えた市の対応策について伺います。

答 季節性インフルエンザとの同時流行が懸念されることを踏まえ、「感染拡大期における感染対策について」国より市町村に通知があり、本市ではインフルエンザワクチンの接種機会を確保し、新型コロナウイルスワクチンの接種を軽減するため「新型コロナウイルスワクチン接種センター」を開設し両ワクチンの接種希望者が早期に接種できるように体制を構築しております。

問 感染を疑う症状が出た場合、初めに連絡するところを伺います。

答 高齢者の場合は、かかりつけ医を受診し、若い方で自己検査で対応できるのであれば、陽性者登録センターに連絡し検査キットを申込み、翌日には、検査キットが届きますので、陽性であれば陽性者登録センターに申請し、ご自身による健康管理になります。

もし体調が悪化した場合は、24時間

一般質問

体制の北海道陽性者健康サポートセンターにおいて体調管理を受付けています。



予防接種イメージイラスト

問 発熱時の対応や外来受診の流れなどの市民周知の方法を伺います。

答 相談先が分からない時は、保健センターの保健師が対応しますので活用願います。

◆その他の質問項目

・恵庭ふるさと公園再整備事業について、困難を抱える女性の自立支援について



公明党議員団

松島

緑

議員



子育て支援の充実について

問 小さく生まれた赤ちゃんのための「リトルベビーハンドブック」について伺います。

答 リトルベビーハンドブックは、主に1500グラム以下で生まれた赤ちゃんの保護者に出産した医療機関等からお渡しし、全国で導入が広がっています。妊娠した方にお渡しする「母子健康手帳」は、標準的な成長・発達を確認するように作られ、早産等で生まれた赤ちゃんの場合、身長・体重の成長曲線や発達の記載ができない項目があり、記入が苦痛となったり、自責の念にかられるなど、保護者の心理的負担が大きくなる状況があります。

このような課題解決のため、現在、北海道で作成・配布に向け、専門機関や保護者団体と検討を進めていると聞いています。

このような冊子を活用し、小さな体で生まれた赤ちゃんと保護者の方へ寄り添った支援を行うことは、安心して子育てできる環境づくりに繋がるので、本市としても、作成時期や対象など、その動向を注視して参ります。

問 配布された場合、実家が道外で帰り出産される方には、こういった形で手渡されるのか伺います。

答 具体的な詳細は、今後示されると思うが、市としても北海道と連携し、必要とする方へ、適切な時期に確実にお渡しし、活用できるよう努めて参りたいと考えています。



子育てイメージイラスト

◆その他の質問項目

・学校施設の安全で快適なトイレ整備について、通学路の安全対策について



民主・春風の会

武藤 光一

議員



今冬の除雪体制について

問 今冬の除雪体制について伺います。

答 今冬は、早期対応に必要な経費をできる限り計上し、ダンプトラックや交通誘導員を確保し、運搬排雪や交差点排雪を計画的に実施するとともに、除雪機械を1人で操作するワンオペを試行的に行うほか、新たな雪堆積場の確保や公園・緑地への雪入れの拡大なども進めて参ります。市民要望対応とし、地区ごとに町内会と意見交換会などを実施し、更に、緊急時における国や道などからの支援体制の確立や全庁的な支援体制づくりの取組等も進めて参ります。

問 除排雪作業の市民への情報発信や周知方法について伺います。

答 除雪の作業状況は、除雪車にGPSを搭載し、パソコンなどから現在の作業状況や作業位置がわかる除雪作業車両追跡マップを平成28年度より開始し、市のホームページから閲覧可能となっておりませんが、今までのホームページでは追跡マップの確認まで時間を要し、大雪などの非常時では、今後

の除雪の見通しなどがわからないことから、ホームページのトップ画面に掲載し、確認しやすくするとともに、非常時には除排雪などの状況がわかるメッセージなども併せて発信するなど、わかりやすい情報発信に努めます。

また市民への周知では、広報誌と合わせて配布している除雪に関するパンフレットで周知するほか、かき分け除雪や除雪マナー啓発用のチラシを生活情報誌に折り込み配布するなど、理解や協力をいただけるよう努めます。



稼働する除雪ドーザー

◆その他の質問項目

・公園の現状と課題について、恵庭市の不登校対策について、読書活動と図書館運営の成果と課題



民主・春風の会

澁谷 敏明

議員



消防職員の働き方について

問 令和5年4月1日より、市職員に「定年延長制」が始まり、定年退職年齢が上がると、消防職員にも同様に適用されます。

消防職員は火災を予防・警戒し、市民の生命、身体及び財産を守るため日夜訓練を行い、24時間体制での業務であり、このような勤務形態や業務内容を65歳まで続けるためには、組織体制や60歳以降の職員配置などに工夫が必要だと思いますが、職場環境について伺います。

答 特に交替制勤務職員は災害対応を行う職種であり、長時間の活動時や夜間の災害現場活動において加齢による体力面や健康面の影響により、受傷危険の可能性が懸念されます。消防本部での日勤の事務職は、職員数には限りがあり、高齢職員だけの配置は、若手職員の人材育成の観点からも困難であり、定年延長後の職員配置や組織体制について今後検討が必要と考えております。

問 現時点でその他の課題について伺います。

答 定年延長した職員は、条例定数に含まれ、高齢化や高齢職員の増加に伴う年齢構成のバランスや平準化が課題と考えております。

問 それまで現場で指揮を取っていた職員が、隊員となるケースも増えることが見込まれます。立場の上下逆転は現場での混乱が懸念されますが所見を伺います。



消防ポンプ付はしご自動車

答 配置ポストへの配慮や、組織として共通認識を持つための研修や訓練、日頃からのコミュニケーションから良好な職場環境を構築し、風通しのよい職場づくりに組織全体で取り組むことも重要と考えております。

◆その他の質問項目

・地球温暖化対策について、児童虐待を防ぐための取組について、スポーツ振興について



市民と歩む会

柏野 大介 議員



離婚前後における相談支援の強化について

問 全国において、婚姻件数に対する離婚件数の割合は上昇しており、単純に件数だけを見ると、3組に1組が離婚をする状況です。恵庭市における婚姻、離婚の件数と離婚前後における支援体制の強化について伺います。

答 令和3年度の件数は婚姻624件、離婚206件となっております。支援体制として、母子父子自立支援員を2名配置し、家庭内や児童の養育に関して、相談支援を行っています。

厚生労働省の委託事業の養育費等相談支援センターに依頼し、養育費の算定と請求方法、再請求や減額・増額の申請、調停に係る期間とその後の流れ、法テラスの活用、公正証書の効力等の研修会を実施し、日常の相談支援に活かし対応しています。

今後についても、母子父子自立支援員を中心に、子どもの利益が優先されるよう、相談者に寄り添った支援を継続して参ります。

問 子どもがいる場合の離婚では、養育費の取り決めが重要です。養育費の

取り決めを増やすには、調停など、法的支援が有効だと思えますが、進まない理由について伺います。

答 一般論として、様々な事情が、それぞれにあるかと思えます。



「離婚届」の用紙

問 未成年の時に、親の離婚を経験した当事者の声からは、子どもたちに対する心理的なサポートの必要性が高いと思えます。恵庭市として何をやっていけるのかを考えていただきたい。

答 子どもからの相談は、そう多くはないと考えていますが、参考とさせていただきます。

◆その他の質問項目

・将来のごみ処理体制の検討について



市民と歩む会

新岡 知恵 議員



幼児教育の重要性について

問 児童福祉法の一部が改正され、保育しなければならぬ子どもは「保育に欠ける」から「保育を必要とする」となり、対象が拡大されました。恵庭市も法改正の趣旨を踏まえた運用がなされなければならぬと考えます。所見を伺います。

答 子ども子育て関連3法の幼児期の教育・保育、地域の子ども子育て支援を総合的に推進するという趣旨を踏まえながら、子ども子育て支援新制度や保育所保育指針などに則して、保育所の運用を進めています。

問 公立保育園において、保護者の勤務がない日は早く子どもを迎えに来てくださいと園から言われたことがあったと聞きました。法改正前、保育所の役割は、養護の側面が強かったと推測されますが、その対応がいまだに残っているのではないかと懸念します。認識について伺います。

答 子どものことを考慮した教育という側面からも、保護者が家にいるならば、ご家族との時間を過ごしていただく

ことも、大切なのではないかと考えております。



恵庭市立すみれ保育園での保育風景

問 子どもの健全な発達のために、保育士が教育的観点から判断することもあると思えますが、その場合でもこのことを家庭に伝えて理解を得ることが重要だと思えます。仕事がない日は子どもを預けづらいと感じている保護者もいるのではないかと危惧しています。教育施設としての役割を保育現場に徹底すべきと考えますが、所見を伺います。

答 保護者との信頼関係が重要だと考えておりますので、保護者の理解を得ながら安心して預けることのできる保育体制作りを努めて参りたいと考えておりますし、何かの機会に改めてこうしたことを周知していきたいと考えています。

◆その他の質問項目

・図書館の政治的中立性について